

福岡市教育委員会

住吉中学校ブロック小中連携校
開校準備委員会ニュース

平成二十七年開校新設校

新校舎の基本計画まよまる

校章・校歌の作成にも着手

平成二十七年年度に美野島小用地に開校する新設校の開校準備委員会委員長・坂井住吉中学校長。以下、委員会)は、第四回委員会を十一月二十八日に開催しました。

今回は、新校舎の基本計画や通学路の検討経過、学校教育内容の検討開始など、これまでの成果報告があり、あわせて校章と校歌の作成に着手することが決まりました。

前回の第3回委員会は、開催時刻になっても日差しが強く、座っているだけで汗ばむ盛夏真つ盛りでしたが、この日は前回とは違ってかわつて、あたりは真つ暗で肌寒い中、机に積まれた報告資料の多さに、各部会の委員の皆様が課題解決に向けて取り組んできた、時の流れを感じながら、委員会は始まりました。

施設部会 報告

基本計画 固まる

新設校の設計を検討する施設部会(坂井部会長・住吉中学校長)からは、七月から五ヶ月間にわたって検討してきた基本計画の最終報告がありました。

その内容は、約一〇〇〇㎡の敷地に小学校と中学校の校舎を一体的に整備するため、敷地の有効活用策としてグラウンドを地上三階に配置し、体育館やプール等の体育施設はグラウンドの下層階(地下一階から地上二階)に収めています。

校舎は、那珂川沿いに六階建てとし、小中学生が連携しやすい教室配置を考えています。さらに、施設の東側には歩道に活用できるスペースを残し、遊具広場等を設け、周辺環境にも配慮する等の特色を持たせています。

(裏面に一部平面図記載)

これから、この計画を元にさらに具体的な設計に取りかかります。

交通安全部会 報告

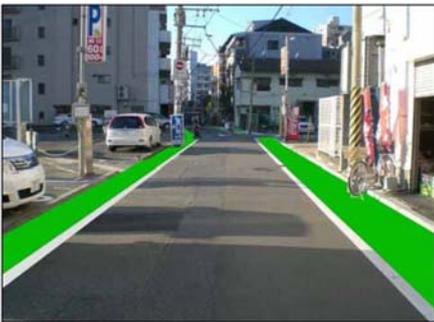
通学路の整備計画

通学路を検討する交通安全部会(部会長・窪住吉小学校長)からは、来年度の統合小学校開校に向けて、これまで関係機関と検討してきた通学路の整備概要の報告がありました。

基本となる通学路の路側帯をカラー塗装し歩者分離を進め、車輛への注意喚起標示の整備を行い、時間帯一方通行の実現への取組を継続します。

住吉・美野島自治協議会の皆さんの協力により、校区をあげて児童生徒の安全体制づくりに取り組んでいます。

年明けからは、いよいよ道路の測量やカラー塗装等の作業が始まります。



通学路の整備イメージ図

小学校歌を新たに作成

校章は小中統一で

委員会最後の協議は、校章と校歌とをいかに準備するかでした。

「小学校は統合するので、新たに校章・校歌を創るが、中学校はこれまでどおりでよいのでは」

「小中連携校の新たなスタートだから、小中統一してはどうか」

「両地域の残したいフレーズを集め、歌詞に反映できればよい」等、

ここでも多様な議論が展開された後に、作成の対象については多数決で意思統一を図ることになりました。

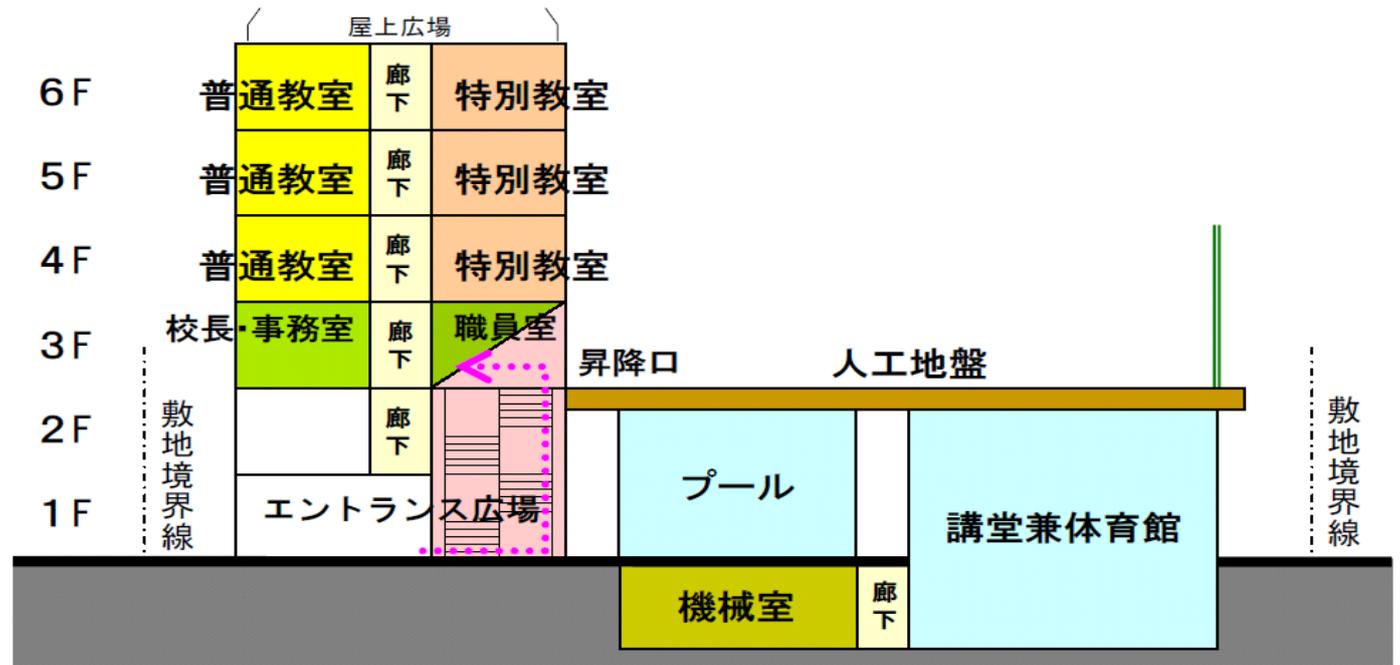
その結果、校章は、小中学校で統一し、新たに一つ創る。

校歌は、小学校歌を新たに創り、中学校は現校歌を継承する。

以上のように決定しました。

作成の方法と時期など詳細については、住吉中・住吉小・美野島小の三人の校長が担当し、話し合われた結果を委員会で検討していくこととなりました。

施設部会報告資料 基本計画図



校舎断面イメージ図

【問合せ先】
 開校準備委員会事務局
 (教育委員会小中連携校開校準備担当) 渡邊
 TEL:711-4873 FAX:733-5865
 E-mail:renkeiko.BES@city.fukuoka.lg.jp